



成田市公民館 ニュースレター

第1号

令和元年
7月2日発行

4月から6月上旬までに行われた、公民館の講座の様子をお知らせします！

主な内容 親子たけのこ掘りと竹細工教室(P1)、子どもおはやし教室(P2)、植木剪定教室(P3)

4月20日(土)「親子たけのこ掘りと竹細工教室」／八生公民館

当日は天候に恵まれ、暖かな春の陽気の中での開催となりました。
たけのこ掘りについて、今年はたけのこの生育が悪く、お土産用たけのこの確保が心配でしたが、計50本を収穫でき、ひと家族4本は持ち帰ることができました。

続いて行った竹細工づくりでは、小物入れ・篠鉄砲・竹ぽっくり・弓矢をつくって、広い芝生で楽しくのびのびと遊びました。

最後に、毎年恒例のたけのこの味噌汁を皆で食べました。採れたてのたけのこはとても美味しく、おかわりを何度もする子がいるほど好評でした。

この講座は春の訪れを感じながら親子で楽しんで参加でき、地域住民との交流も図れる貴重な講座です。来年度も続けていきたいと考えていますので、多くのみなさまの参加をお待ちしています。



5月19日・26日、6月2日(日)「子どもおはやし教室」／玉造公民館

夏の祇園祭などでもおなじみの下座。それを子どもたちが学べる講座です。

講師は、玉造下座保存会の講師・田村先生と下座保存会のみなさんで、普段触れることができない鼓や太鼓を使って、楽しくお囃子を学ぶことができました。教室は全3回で行い、1回目は様々な楽器を交代で練習し、2回目は演奏する楽器を決めて、コンサートに向けての練習、3回目はコンサートを行い、家族等が見守る中で、練習の成果を発表することができました。

講師の田村先生からは、玉造下座保存会のサークルの活動内容の紹介のほか、おはやしにはなくてはならない「砂切（さんぎり）」「馬鹿囃子（ばかばやし）」の演奏、地域に伝承されている踊りの披露などもあり、「子どもおはやし教室」を通して地域での活動や、お囃子という地域文化を知ってもらうことができました。



6月1日(土)・2日(日)「植木剪定教室」／遠山公民館

2日間にわたり、天候に恵まれた中で開催となりました。

1日目の午前中は座学で、剪定道具の使い方や、植木の種類ごとの手入れの方法等を学び、午後には各々が持ち寄った道具の手入れの方法等を学びました。庭の手入れ等にすぐに役立つ内容だったので、受講者も熱心に聞き入っていました。

2日目は朝から公民館の庭の生垣の剪定を行い、最後にシュロ縄の扱い方を学びました。気温の高いなかでの作業でしたが、みなさん熱心に取り組まれており、最終的にはすっきりとした生垣ができあがりました。

また、各日とも講義前や休憩中、講義終了後にも受講者が講師のもとへ質問に行く姿が見受けられるなど、受講者の学習意欲の高さが感じられた講座でした。

